

報告ダイジェスト

・2025 年度虐待防止研修報告	(報告 1)
・プチバカンス報告	(報告 2)
・中堅職員研修レポート	(報告 3)
・初任者研修レポート	(報告 4)

報告 1 2025 年度虐待防止研修報告

9月19日(金)、地域交流センター恵比寿にて、2025年度の虐待防止研修を実施しました。24時間365日どこかの現場が稼働しているぱれっとで、全員が一同に集まるというのはかなり難しく、当日の参加者は11名でしたが、出席できなかった職員、アルバイトの方々は後日動画を視聴、レポートを提出する形で参加していただきました。

●今年の研修

昨年に引き続き、今年も東京都社会福祉協議会の無料講師派遣事業の支援を受け、長年の経験をもとに、こうした研修の講師を務めて来られた小原俊治氏に講義をお願いしました。昨年度の基礎的な研修に続き、今年は実際のケースをもとに意見を交換しあう、グループディスカッションを長めに設定、現場職員の交流の意味も含めて、大変有意義な1時間半の研修となりました。



研修の様子

●内容

後半の事例検討の前に、冒頭30分を復習の意味も含めてテキストをもとにした虐待の定義、身体拘束の3つの要件（切迫性、非

代替性、一時性）などについてお話を伺いました。中でも最近良く話題にのぼる、「スピーチロック」（言葉による抑制）については、参加者の中に初めて聞いたという事後の感想も見られ、身体的、経済的だけではない「当事者の尊厳を損ねる行為」として再度認識したという声がありました。

●参加者の感想

「事例の中で、即虐待には該当しないが、グレーな部分が多く、個人の尊厳を守れているかという視点が大変難しかったです」

「気づき⇒想像⇒実践⇒配慮が当たり前になるよう、継続的に研修を行なう必要性を感じました」「見解に幅はあれど、条件や状況を突き詰めて考えると、虐待にあたるかあたらないか、様々な視点が出てきて、良いグループワークになったと思う」「研修を受けて利用者の尊厳を著しく損なう行動が虐待にあたると学びました。安全確保を第一に積極的に行動していきたいと思います。」「(利用者が) 何がきっかけで不安定になったのか、どんな対応から不安定になったのか、些細なこともスタッフ間で共有することの重要性を改めて感じた」

●まとめ

事後の感想で「次回はぱれっとでの具体的な事例を挙げ、その対応について議論できる機会にしたい」という声が複数挙がりました。質の高い支援を目指し、今後の研修を進めていきます。

(事務局長 南山達郎)

報告2 10月18~19日宿泊行事「プチバカンス」開催

今年のプチバカンスは、埼玉県長瀬町に総勢38名で出かけてきました。久しぶりの試みとなる電車移動で、ハラハドキドキの開催でしたが、当日は欠席や遅刻をする方が一人もなく予定通り無事に終えることができました。今回の旅行にボランティアとして関わってくれた方々をはじめたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。

●宿泊行事「プチバカンス」とは

余暇活動支援事業たまり場ぱれっとのイベントの一つで、毎年1泊2日の宿泊行事を行なっています。今年度は秋に企画し、涼しくなった季節の中で自然を感じながら交流を楽しむ時間となりました。



【絶景の前で班の集合写真♪】

●1日目はライン下りと長瀬散策

恵比寿駅集合後、池袋駅から西武池袋線の特急ラビューに乗り込み、秩父を目指します。電車を乗り継ぎ宿泊場所に荷物を置いてから旅のメインの長瀬に降り立ちました。そこからは、事前に希望を聞いていたライン下りと散策の2つのコースに分かれて観光をしました。

この日はいいお天気で川の水量も少なかったため、当日にプランを変更、ゆっくり船に揺られながら景色を眺める川下りとなりました。川を激しく下り、水しぶきもすごいのかと想像していた人たちには、少しがっか

りする気持ちもあったかもしれませんが、その分ゆっくり散策することができ、長瀬の魅力を再認識できました。

●2日目は秩父観光

宿を出発して再び電車に乗り込み、次は秩父に行きました。秩父神社とまつり会館を見学し、実際にお囃子の生演奏を聞くことができ、12月に行なわれる秩父夜祭の様子を肌で感じることができました。その後レストランで美味しいきのこパスタをいただき、駅でお土産を購入してから無事帰路に就きました。



【西武秩父駅にて全員集合！】

●実行委員長、『のむさん』から

近年、バスの値段の高騰等が課題としてあり、当日は電車移動でしたので、電車に乗り遅れたり、はぐれたりすることがないよう、みなで声をかけ合って行動しました。参加者のみなさんが楽しんでくださり、またお礼のことばまで沢山いただいたので、私としてはとても嬉しかったです。

電車移動は、荷物運搬サービスなどの特有の費用が発生することや、当日の参加者の体力面など、課題もあるな、というのが正直な感想でした。それでもボランティアや参加者のみなさんと、楽しく旅行を終えられたことに本当に感謝しています。ありがとうございました。

(たまり場ぱれっと 武井琴美)

報告 3

中堅職員研修レポート

8月22日、25日の2日間にかけて行なわれた東京都社会福祉協議会主催の「中堅職員研修」に参加しました。講師は東京立正短期大学現代コミュニケーション学科准教授の鈴木健史先生で幼稚園教諭や保育士を経て、ファシリテーション、リーダーシップ、コミュニケーションなど様々な人間関係論を専門にされています。

同じ福祉業界とはいえ様々な職種の人達の参加でした。中堅職員の立場について色々な視点から考え、学び、自分自身がステップアップしていくために必要な物は何か、目標は何かを見つけるという内容の講義でした。事前に課題がありテキスト内のテーマごとに自分が重要だと感じたポイント、業務にどのように活用していきたいかをまとめていました。各テーマごとに講義を受け、自分自身で考え、その後グループワークで発表をしました。グループメンバーの職種は保育士、病院の事務、訪問介護、障害者入所施設職員でした。意見交換をしてみると同じポイントでも職種の違いで考える所や見る所が違った点も学んだことのひとつでした。事前課題を使用したので効率よく意見交換が進みました。

①キャリアデザインと自己管理

中堅職員としての役割や自己管理のあり方を確認し、自らのキャリアデザインを考えていく必要があることを感じました。

②福祉サービスの基本理念と論理、フォローアップの醸成

後輩職員の手本となって行動でき

る視点や、信頼関係構築に向けたコミュニケーションについて理解し、中堅職員としての役割行動を理解していこうと思いました。

③職場の問題解決における要因分析の視点と原因の抽出

問題解決における要因分析の視点について、事例研修を通して体験的に学ぶことで中堅職員としての役割行動を強化できました。

④能力開発・問題解決・リスクマネジメント・多職種連携・運営管理

上記5つの分野に関するテーマでのグループワークを通して、自らのキャリアアップの為に必要な啓発課題を見つけていくことを学びました。

⑤行動指針の策定

中堅職員として今後何を大切にしていこうか、自分自身の「行動指針」を明らかにすることによって自己変革につなげていくことが大事だと思いました。

⑥キャリアデザインとアクションプランの策定

組織の期待を自覚しつつ、行動指針をもとに当面の重点目標を設定し、自分のキャリアデザインを描いていきたいです。

●まとめ

職員だけではなく利用者や家族みんなが同じ方向を向くことが大切で、そのためには言葉にならない思いを聞く力であったり、穏やかに過ごせる環境作りが必要だと改めて感じた研修でした。

(おかし屋ぱれっと 山元絵里)

報告4 初任者研修レポート

●はじめに

9月に東京都社会福祉協議会主催の初任者研修に参加しました。研修では、講義やグループワークを行ない福祉職員としての仕事への取り組み方などを学びました。参加者を見ていると福祉の仕事だけでも様々な職種やサービスがあることを知り、知識が深まりました。

●福祉の仕事について

最初に、福祉の仕事に就いた動機や初任者としての役割を確認しました。また、福祉サービスの仕事の特性を理解し、仕事への姿勢を改めることが出来ました。

福祉サービスの仕事の特性

1. 社会の期待がますます大きくなる仕事
2. 生活支援を必要とする人々にとって不可欠な仕事
3. 専門的サポートと思いやりの心が必要な仕事
4. 一人では対応できない、チームケアと連携が必要な仕事
5. サービスの質の向上と効率性の確保が求められる仕事

私は、福祉の仕事として障がいのある方や高齢者のサポートをすることを想像していましたが、研修に参加した人の中には母子のサポートをする人や子どものサポートをする人など幅広いことが分かりました。



福祉は特定の人だけでなく誰もが必要とする仕事であると改めて思いました。

今の仕事を、人を支える仕事として誇りに思いたいです。

●福祉職員としてのキャリアプラン

次に、キャリアプランについて考えました。人生のキャリアとして、職場で期待されているあるべき姿・求められている役割行動（組織ニーズ）を認知し、自身の仕事への持ち味や欲求、価値観など（個人ニーズ）の融合が求められていると認識しました。自分の持ち味を生かして組織に貢献できるように努めたいです。

相互依存の関係

- ・個人は仕事及び機会を提供する組織に依存
- ・組織は個人の職務遂行能力に依存

研修の最後には、今後も福祉職員として働いていくために、自身の役割行動と行動指針を確認し、キャリアデザインとアクションプランを制定しました。将来のキャリアの見通しを立てることで仕事へのモチベーションを向上させたいと思います。

初任者として私が大切にしたいこと

- ・利用者の抱えている悩みや問題を協力して乗り越えたい
- ・地域の福祉に関わる情報を理解し地域の取り組みに貢献したい。

●おわりに

今回の研修で福祉の仕事について学ぶだけでなく仕事への姿勢を考えさせられました。人をケアする仕事として思いやりの心を大切にし、利用者の気持ちに寄り添う支援をしていこうと思います。

初任者としてこれからも苦労が沢山あると思いますが、一人で考えこまず、周りに相談したり、自主的に福祉について勉強して成長していきたいと思っています。

（おかし屋ぱれっと・工房ぱれっと 江成 葵）